

広報いいで

2

14, February
2013
Vol.1031

Let's ski
可愛い子には、滑らせよう！



西部スキー教室の指導者「西部スキー運営会」の皆さん。
会長の大城清さん(高峰)は、後列・右から2番目の方

03 特集◎飯豊分校閉校

理想にもえて 興農の真義を究む
閉校記念式典
地域とともに歩んだ65年

10 まちかどNEWS

キララ☆親子スキー教室／白樺地区第9回川柳カルタ取り大会／いいで地域史学習会ほか

12 スナップショット

13 がんばりの軌跡

14 直伝おふくろの味

15 子育てファイル／あ～す図書室情報

16 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き

17 健康 ikiiki プラス

18 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記

20 町宝いいで ～萩生城社本丸土塁・水濠～

町のホームページから さらに情報を！

町からのお知らせや情報は飯豊町ホームページにも掲載しています。

大きなアイコンとすっきりしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単にさがすことができるように工夫されています。

どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



www.town.iide.yamagata.jp



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

今月の 表紙

楽しく滑れば スキーはうまくなる



レッスンの様子

1月13日から2月10日までの毎週日曜日に、手ノ子スキー場で、西部スキー教室が開講され、小学2年生から6年生までの51名が受講しました。手ノ子地区と高峰地区の方々を中心となって指導。「数多く滑ることがレベルアップには欠かせません。楽しい練習を心がけ、子どもたち自身が上達を実感できるようになるまで、責任を持って指導に当たっています」と大城会長は話します。

飯豊分校閉校

山形県立置賜農業高等学校飯豊分校は、今年3月をもって閉校し、4月から本校と統合します

飯豊分校は、戦後間もない昭和23年春、定時制課程の山形県立豊原高等学校として創立しました。以来、65年間の歴史を刻んできた実業高校の学び舎がその役目を果たし、大きな成果を残して、次の段階に向かうことになりました。

これまでの分校の歴史を振り返るとともに、閉校記念式典の様子をお伝えします。



昭和28年の校舎玄関



平成24年の校舎玄関

理想にもえて 興農の真義を究む

きわ



稲穂で農業を象徴し、周囲は蔵王・飯豊・吾妻・朝日と、置賜をかこむ四つの山をかたどり、四方への雄飛をあらわしたものである。

65年の歴史に幕

山形県立置賜農業高等学校飯豊分校は、昭和23年5月、旧豊原村役場を仮校舎として創立されました。当初は、名称を山形県立豊原高等学校とし、定時制の高校でした。昭和28年に、椿地区に校舎が完成したことに伴い、現在地に移りました。飯豊分校のすべての校地と校舎の多くは、飯豊町から山形県に貸与されたものです。「勤労青少年に勉学の場を」との分校に対する地域の期待の大きさと熱い思いがうかがい知れます。



生み出してきた分校校舎

以来65年という長い歴史を刻んで来ましたが、近年の「中学校卒業生数の減少」「社会の変化」「生徒の多様化」という時代のうねりの中で今年3月をもって閉校し、4月から川西町の本校に統合されます。

「質実剛健・誠実明朗・実践奉仕」の校訓のもと、町唯一の高等教育機関として地域社会を担う多くの若者を輩出してきました。その功績は、農業分野のみならず、地域社会発展に大きく寄

与し、各方面から高い評価を得ています。

大いなる成果を残して

昭和42年の羽越災害時に、全校あげて地域の救援・復旧作業に連日奮闘しました。その精神は、昭和50年代から続く地域公共施設でのボランティア活動に引き継がれています。その多大なる功績と崇高なる精神が称えられ、平成2年に「ボランティア協力校」とし

て厚生大臣表彰を受けました。

また、平成16年には「アレルゲン除去玄米ケーキ」の研究内容と地域に根ざした普及活動が評価され、農業高校生甲子園と言われる「日本学校農業クラブ全国大会」で最優秀の文部科学大臣賞を受賞しました。当時、小さな分校の大きな快挙と報じられました。

これらの功績は、生徒の努力はもちろんです。先生方の惜しみない援助が生徒たちの力を伸ばしたことに他なりません。取材で出会った卒業生は「少数で生徒同士、先生と生徒が密に向き合い、深いコミュニケーションがあった。そして、弱さをつつかない、触れない優しさは持っていた」と当時を振り返ります。

閉校に際し、在校生、保護者、教職員、同窓生など学校関係者の胸中には、さまざまな思いが駆け巡っていることでしょう。それは、多くの地域住民にとっても同じことであり、惜別の念を禁じ得ません。



昨年5月、南陽市で開催された「置賜よさこい祭り」に参加した時の記念写真

**山形県立置賜農業高等学校
校歌**

豊かなる平野ひむがしにひらけ
 飯豊の銀嶺夕陽に映えて
 生命あるもののやすらかにうるわし
 ああここに置賜高校あり
 理想にもえて興農の真義を究む
 若松の森の風の音さやけく
 廣きグラウンドに跳び掛け唄い
 歓喜にみちて若人ははたらく
 ああここに置賜高校あり
 知性つちかい日に進み伸びゆく学友よ
 規律ある校風おのずから芽ぐみ
 信愛の花に自活の実むすぶ
 我が青春ぞたのもしくなつかし
 ああここに置賜高校あり
 永遠に榮えて平和なる祖国を担う

作詞：完戸 一郎氏 作曲：齋藤 次郎氏



正面ロビーに掲示された生徒たちの功績。生徒のがんばりを全力で称えようとする学校の姿が伝わる



昭和28年の校舎建設以来、生徒・先生たちと共に特別な毎日



日々の掃除で磨き上げられた廊下



農業実習の様子



分校生考案の菓子「百合菓」の普及活動。物産館でアンケート調査

『ありがとう』感謝を胸に

閉校記念式典

Gratitude

— G r ā t u s —

1月26日(土)町民総合センター「あぐす」を会場に、飯豊分校閉校記念式典と記念音楽会が挙行されました。
悪天候にもかかわらず同窓生、歴代の校長・旧教職員や地域関係者など約200名が参列。在校生73名は早々に会場入りし、静かに開式の時を待っていました。



厳かに閉校記念式典挙行

午前10時、ピアノに合わせた始礼で記念式典が挙行されました。国歌斉唱の後、実行委員長の後藤幸平町長が「本校に統合になっても、今日までの輝かしい歴史、培われてきた伝統は決して絶えることなく、いつまでも受け継がれます。集まり散じて人は変われども仰ぐ理想は不変不滅のもので。飯豊に誕生した源流がいま大河に向かう、そんな気概を持って共に閉校の峠を越したいと思っています」とあいさつ。

続いて、式辞に立った岸順一校長は「近年の飯豊分校は、農そのものを学ぶ『農業後継者育成』とともに、農を通した『人づくり』が大きな役割でした。分校で培われた、生徒を全職員で見守る、多様な役割や地域の方々との触れ合いを通して育てる、という分校教育の基本を本校教育でも継承してまいります」と式辞を述べました。

生徒を代表して生徒会長堀越愛美さんは「私たちにとって、思い出が沢山詰まった飯豊分校が無くなることはとても寂しく、また、悲しいことです。しかし、分校での日々は色あせることなく私たちの心に永遠に残ると思います。65年に渡って私たちを指導してくださった多くの先生方、職員のみなさん、PTAや同窓

会の方々、そして地域の皆さま、皆様のご支援があつていまの私たちがいることを深く実感します。ありがとうございました。」と感謝の言葉を述べました。

最後に、校歌を斉唱し、閉式となりました。

学舎への思いを込めて

閉校記念の第2部として、11時から記念音楽会が開かれました。男声合唱団「プロジェクト」、女声合唱団「コラール・ド・めざみ」がそれぞれ歌声を披露したあと、両合唱団と分校生で町民の歌「いつも心に」を合唱しました。歌詞にある「ああわすれないわすれられないあの空あの山あの川そしてあの人マイホームタウンいつも心に」のフレーズに参列者は感慨ひとしおの様子でした。ファイナールには、参列者全員で「ふるさと」を歌い上げました。

分校は、3月3日(日)に本校で最後の卒業式を迎えます。





③

- ① 校舎がモチーフの閉校記念品
- ② 閉校記念誌
- ③ 町民の歌「いつも心に」を合唱する分校生とプロジェクト、コラル・ド・めざみ
- ④ 式に参列する保護者たち
- ⑤ 生徒会長あいさつ
- ⑥ 生徒と参列者たち



④



⑥



⑤

その歴史と伝統を振り返り、未来へ繋げる

地域とともに歩んだ65年

History

— H i s t o r i a —

現在の飯豊分校は、「働きながら学ぶ」定時制課程の学校として昭和23年に山形県立豊原高等学校として創立しました。当時は、旧豊原村役場（萩生）を、本校舎建設までの仮校舎として使用していました。昭和28年に椿地区に本校舎の教室などが完成したことに伴い、現在地に移りました。昭和30年4月に山形県立飯豊高等学校と改称。昭和37年に山形県立置賜農業高等学校飯豊分校が併設され、昭和39年に飯豊分校に合併し、現在に至ります。

飯豊分校の歴史を、年表と写真で振り返ります。

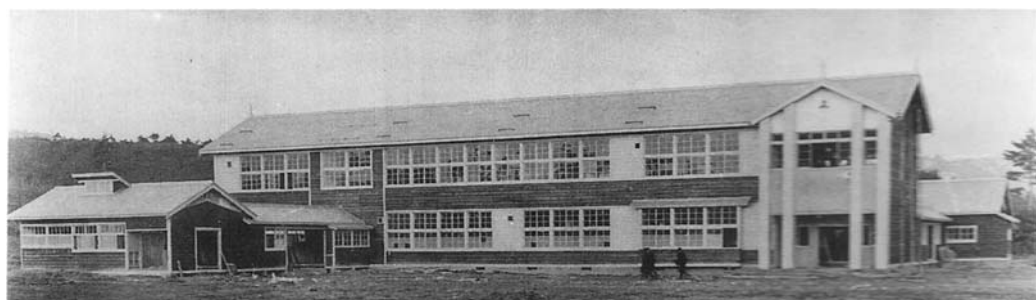
学校時代	山形県立豊原高等学校時代						
							昭和
30年8月28日	30年4月1日	29年10月1日	29年3月31日	28年12月26日	27年4月1日	24年5月	23年3月31日
□校舎増築竣工式挙行	□山形県立飯豊高等学校と改称	◎豊原村、添川村、豊川村が合併して飯豊村となる	□添川分校廃止	□椿に本校舎落成	□設置学科を定時制普通科・農業科・家庭科とする	□校章制定	□山形県立豊原高等学校設置の許可を受ける
							4月24日
							5月3日
							□旧豊原村役場を校舎として開校 (創立記念の日)29日
							□豊川村、添川村に定時制課程農業科を設置



豊原高等学校の校章
近代農業を象徴するクローバーと学問の象徴であるペン先を重ねあわせた図案



昭和23年 創立当時、仮校舎として使用していた旧豊原村役場

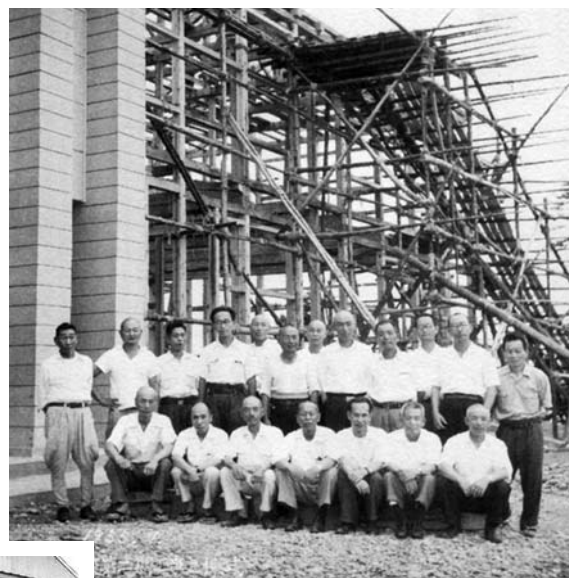


昭和28年 完成直後の豊原高等学校新校舎

(予定) 4月1日	(予定) 3月3日	25年 1月26日	11月17日	24年 10月24日	16年 10月21日	10年 9月12日	平成 2年 6月30日	51年 11月14日	49年 3月3日	46年 3月31日	42年 8月28日	42年 4月1日	40年 5月18日	40年 3月3日	39年 4月1日	38年 4月1日	37年 3月29日	36年 2月6日	33年 4月1日	31年 4月1日	
□山形県立置賜農業高等学校に統合	□卒業式(卒業生28名)	□閉校記念式典および記念音楽会挙行、閉校記念誌発行	□閉校記念碑1基建立	□長年のボランティア活動が認められ、県知事より「感謝状」授与	□第55回日本学校農業クラブ全国大会プロジェクト発表で文化・生活の部最優秀賞(文部科学大臣賞)受賞	□創立50周年記念式典挙行。記念碑1基建立、記念誌発行	□第2回全国ボランティア大会で厚生大臣より「ボランティア協力校」の表彰を受ける	□体育館ステージ落成	□全日制課程農業科第1回卒業式(卒業生39名)	□全日制課程農業科第1回卒業式(卒業生28名)	□定時制課程最後の卒業式(卒業生40名)	□定時制課程募集停止(農業科・生活科)	◎羽越水害 □分校生徒は連日救援活動に従事する	□家政科を生活科と改称	□体育館竣工式挙行	□山形県立置賜農業高等学校飯豊分校に完全合併	□山形県立置賜農業高等学校最後の入学生(農業科・家庭科)が飯豊分校第1回卒業生として卒業	□全日制家政科1学年のみ募集(翌年3月募集停止)	□定時制普通科募集停止	◎飯豊村と中津川村が合併して飯豊町誕生	□豊川分校廃止



昭和42年 羽越水害復興作業に協力する生徒



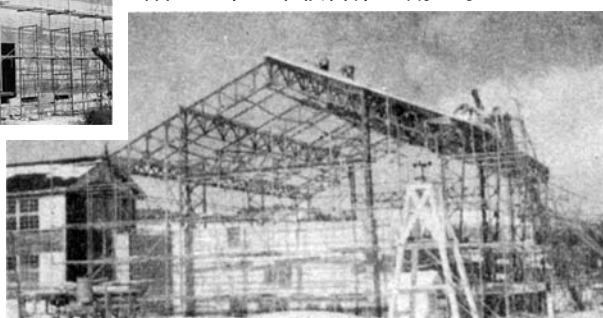
昭和30年 本校舎第2期工事



平成6年 勤労体験学習(玄関前にタイル敷き)



昭和51年 体育館にステージを増設



昭和39年 建設中の体育館

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線224



キララ☆親子スキー教室

大事な基礎を身に付ける

1月6日から2月2日までの毎週末(合計5回)、手ノ子スキー場で、年中児から小学校2年生までの子どもとその保護者30組が参加して「キララ☆親子スキー教室」が行われました。指導者は、町スキークラブ(熊野昌昭部長)。十分に準備体操を行った後、子どものスキーレベル別にグループに分かれ、楽しみながら上達を目指して練習に励んでいました。初心者グループでは、風邪をひかないための汗の処理についても手ほどきを受けていました。

いいで地域史学習会

原文に基づく納得の講義



1月26日、2月2日と9日の3日間、あ〜すで、延べ100名以上が参加して「いいで地域史学習会」が開かれました。いいで歴史考古の会と町教育委員会が毎年実施している公開講座。初日は、山形大学名誉教授金山等氏を講師に迎え「文化としての風土—イザベラ・バード『日本奥地紀行』を読む—」を演題に講義が行われました。英語原文に即した解釈に、参加者はメモを取りながら熱心に聴き入っていました。

白樺地区第9回川柳カルタ取り大会

見つけたよ



1月27日、白樺地区公民館で、10名が参加して「川柳カルタ取り大会」が行われました。使われた川柳は、第二小児童と地区の方々から寄せられたもの。川柳が2回読み上げられ、笛の合図でスタート。前半戦はカルタの枚数が多く、目当ての1枚を見つけ出すのにひと苦労。参加者たちは、カルタの間を縫うように探し回っていました。中には、ほかの参加者が通り過ぎた後に、運よくお目当てを見つけ出す小学生もいました。



星・宇宙を身近に感じる特別授業

国立天文台ハワイ観測所と生中継

1月22日、飯豊中学校と国立天文台ハワイ観測所(米国)が中継で結ばれ、3年生80名が、林左絵子准教授から宇宙についての特別授業を受けました。同授業は、国立天文台の公募事業に、町教育委員会が応募して実現。スクリーンに映し出された林准教授は、惑星や観測所などの画像や小道具を使い、身振りを交えながら宇宙の不思議と天文学の楽しさを伝えました。生徒たちからは「観測所で働くには?」「生命体の探査はしていますか?」などの質問が出ました。

第39回七浦小学校交歓会

親の世代から続く交流



1月13日から15日にかけて、南房総市立七浦小学校5年生と保護者ら計17名が来町し、第一小5年生27名と交流しました。交歓会は今年で39回目。初日は、自然の家で餅つきやヤハハエロなどを行い宿泊。2日目は、どんでん平スノーパークで雪上バナナポート乗りやチューブ滑りを楽しんだ後、宿泊受け入れ児童宅に移動し、各家庭ごとに交流を深めました。2月には第一小の5年生が南房総市を訪れました。

飯豊町の冬を楽しむツアー

飯豊の冬を満喫



1月26日から27日にかけて、中津川地区で冬を楽しむツアーが行われました。いいで“Fun” Club、白川ダムビジョン推進会議、緑のふるさと公社による合同企画。“Fun” Clubのダニエル・カール会長と県内外から参加した約40人は、スノーモービル体験やだんご下げなど多彩な催しを楽しみました。自然観察会では、雪まみれになりながらも笑顔の参加者たち。飯豊の冬を心行くまで満喫していました。

手ノ子スキー場感謝デー

日頃の利用に感謝を込めて

1月27日、手ノ子スキー場で「スキー場感謝デー」が行われました。同事業は、手ノ子スキー場活性化組合(寒河江勝組合長)が企画し、今年で4年目。正午に、先着100人に豚汁が振る舞われた後、150人以上が参加して石油ストーブや電気毛布など40点の賞品を目指した抽選会が行われました。特賞の抽選では、主催者が「“肥やし”2トトラック1台分」と賞品を読み上げると、会場から大きな笑い声が上がり、当選者の小学生は微妙な表情で交換券を受け取っていました。





1/7

町新春賀詞交歓会
(いいで旅館)



1/6

町消防団出初式
(あ～す)



まちかど

スナップショット

「まちかどNEWS」で紹介しきれない地域のできごとを1枚の写真でご紹介します



1/17

グルメ「商品開発ワークショップ」
(中部地区公民館)



1/11

だんご下げ
(こどもみらい館)



1/9

暴力団排除推進調印式
(役場)



1/26

第16回いいでめざみの里新春将棋大会
(中部地区公民館)



1/24

町長と民生委員児童委員協議会懇談会
(白川荘)



1/19

「農都交流型ツーリズム」事業報告会
(物産館)



1/30

雪下ろし講習会
(あ～す)



1/27

プレミアム付き商品券大抽選会
(中部地区公民館)



1/26

新春交通安全ぬりえ展
(あ～す)



(敬称略)

◆山形県学校安全優良学校表彰

中津川小・中学校

◆第14回めざみの里書き初め大会

- ◇町長賞／寒河江亮太(飯豊中)
- ◇教育長賞／伊藤人輝(手ノ子小)
- ◇めざみの里社長賞
佐原詩乃(飯豊中)
- ◇町観光協会会長賞
小関梓乃(手ノ子小)
- ◇山新賞
佐原芽依(添川小)
- ◇萩生郵便局長賞
齋藤千紘(手ノ子小)
- ◇金賞
船山玲緒奈(第一小)、土田嘉惟斗

(第二小)、平山絵理(添川小)、小山帆夏(同)、齋藤耀(手ノ子小)

◇銀賞

富永心涼(第一小)、長岡琉奈(同)、大富桃子(第二小)、舟山晴斗(添川小)、嶋貫舞(飯豊中)

◇銅賞

船山瑛留美(さゆり保育園)、小山航平(第一小)、渡部あや乃(同)、渡部暖(第二小)、土田嘉哉斗(同)、小川りさ(同)、梅津愛(手ノ子小)、今麻広(同)、齋藤拓真(同)、梅津優香(飯豊中)

◇審査員特別賞

後藤規子(萩生)、佐原雄子(添川)、伊藤恵(手ノ子)、伊藤建(同)、山口美穂(小国町)

◇がんばったで賞

大富一郎(中部幼稚園)、佐原大斗(添川児童センター)

◆日本スポーツ少年団創設50周年記念表彰

◇功労者

島貫潤一郎(萩生)、宇津木孝一(同)、横澤吉和(黒沢)、長沼昭彦(椿)、鈴木文孝(同)、菅野俊栄(同)、伊藤靖(同)、伊藤和範(添川)、熊野昌昭(手ノ子)、伊藤和正(高峰)、伊藤敏英(同)、後藤通雄(岩倉)、小松和浩(長井)

◇優秀団

わかくさ野球スポーツ少年団、わかくさサッカースポーツ少年団、わかくさミニバスケットボールスポーツ少年団、西部スポーツ少年団、飯豊柔道スポーツ少年団、わかくさバレーボールスポーツ少年団、白椿ソフトボールスポーツ少年団

◆置賜地域農林水産業若者賞

高橋 勝(添川)



第14回めざみの里書き初め大会

1月2日、物産館で、園児から大人まで69名が参加して「めざみの里書き初め大会」が行われました。参加者は「ともだち」「平和な国」「新春梅花香」など年代別課題に挑戦。手本を見ながら新聞紙に何度も練習した後に、清書用の半紙に向かい一文字一文字じっくりと時間をかけて書き上げていました。参加者の中には、中心線がずれないように半紙に折り目を付けてから書き始める方や、習字道具を“おなか”に使っている帰省中の夫婦もいました。



めざみの里社長賞 佐原 詩乃 町観光協会会長賞 小関 梓乃 教育長賞 伊藤 人輝 町長賞 寒河江 亮太 山新賞 佐原 芽依 萩生郵便局長賞 齋藤 千紘

直伝おふくろの味



卵の花炒り

はは
義母から受け継いだパラリとした食感

【材料】

- ◇おから 400g
 - ◇ゴボウ・ニンジン・レンコン 各 80g
 - ◇ネギ 100g
 - ◇玉ネギ 30g
 - ◇平コンニャク 100g
 - ◇ちくわ 1本
 - ◇生シイタケ 50g
 - ◇ゴマ油 大さじ2杯
 - ◇砂糖 小さじ1/2杯
 - ◇しょう油 大さじ3杯
 - ◇酒 大さじ1杯
 - ◇みそ 小さじ1杯
 - ◇水 100cc
 - ◇かつお節 一つまみ
- 【作り方】
- ① 鍋に、薄く切ったコンニャクと、それが隠れる程度のめんつゆ（水で3倍に薄める）を入れ、水分が無くなるまで炒める。冷凍庫で一晩凍らせる。調理前に自然解凍しておく。
 - ② ゴボウとニンジンをさがき、レンコンをさいの目切り、ネギの白い部分を小口切り、玉ネギをみじん切り、ちくわを輪切りにする。
 - ③ ゴマ油で①と②を炒める。ゴボウとニンジンがしんなりしたら、砂糖、しょう油、酒を加え、さらに炒める。
 - ④ ③にさいの目切りのシイタケと1.5センチに切ったネギの緑色の部分を入れて軽く炒めてからおからをほぐして入れ、分量の水で溶いたみそを入れ、水分が無くなるまで炒める。
 - ⑤ ④に、かつお節を一つまみ入れて出来上がり。

具材に合わせた切り方が生み出す豊かな食感



黒沢地区
食生活改善推進員
伊藤喜和子さん

卵の花は多くの家庭で食され、それぞれに家庭の味があり、好みがあると思います。私の実家でも卵の花は食べていましたが、嫁ぎ先の義母は、パラリとした口当たりで仕上げていました。いつの間にか私も義母の卵の花を作るようになりました。

おからのほかに、コンニャクの弾力、レンコンのシャキシャキとした歯ごたえなど、食感を大切に料理です。コンニャクは、冷凍することで弾力が増し、めんつゆで炒めているので、噛む度に味が染み出します。

アレンジとして、具材にザーサイを加えてピリ辛にしたり、溶き卵でとじ、ピザ用チーズをかけてアツアツのご飯に乗せれば洋風の卵の花ライスになります。孫も大好きな一品です。



こどもみらい館の予定表
(2月・3月の日程)

- 2月20日(水) 10:30～ ほのぼの講座
- 21日(木) 10:30～ 避難訓練
- 27日(水) 10:30～ かんがるー広場
- 3月1日(金) 10:30～ ひなまつり (要予約)
- 6日(水) 10:30～ おはなし広場
- 13日(水) 10:30～ あそびの広場・避難訓練
- 15日(金) 10:30～ 大きくなったね会(要予約)
検診後 ブックスタート

ひなまつり みんなで楽しく桃の節句をお祝いしましょう。
3月1日(金) 10:30～ 申し込みは2月22日(金)まで。 ※※※※
こどもみらい館

episode

子育て応援
kosodate
ouendan 談

遊びで培う社会性
「感じて察して意思疎通」

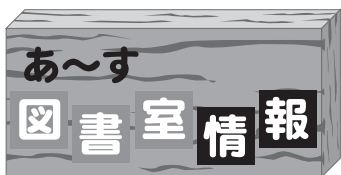
この冬皆さんのお子さんは、どんな遊びを楽しんでいますか？ 園では、福笑いやすごろくなどいくつかの遊び道具を用意していますが、中でもかるたとトランプは大人気。私が小さいころは、外で遊べない冬の日、家族全員がこたつに集まり、かるた取りやトランプで神経衰弱、ババ抜きなどで遊んだものです。

こうした遊びをより楽しむためには、相手とのコミュニケーション力が必要です。会話に限らず、相手の声や表情、しぐさなどから気持ちを読み取る力です。昔からの遊びには、常に相手とコミュニケーションしながら進めていく難しさと楽しさがあります。園の子どもたちもそれが面白いと感じているのかもしれません。

皆さんも家族で楽しんでみてはいかがでしょうか。

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日
 利用時間/8:30～12:00、13:00～17:00



今月の
おすすめ図書



児童図書

チャーリーのはじめてのよる

エイミー・ヘスト/文 ヘレン・オクセンバリー/絵 岩崎書店

ある雪の日、ヘンリーは子犬をだっこして、家に帰ってきた。子犬のチャーリーと男の子の友情のはじまりを描いた、やさしさと温かさがあふれる絵本です。



児童図書

もりもりくまさん

長野ヒデ子/作 スズキコージ/絵 鈴木出版

何でももりもりこなす、くまさん。一日中もりもり元気なくまさんの姿を、ユーモラスに描きます。読み聞かせにぴったりの、リズムカルで楽しい大型絵本です。



一般図書

螢草

葉室麟/著 双葉社

父が無念の切腹を遂げ、一人残された16歳の菜々。父の無念を晴らすという悲願を抱きながら、武家の娘ということのを隠し、奉公に出る…。温かくて爽快な時代小説です。



一般図書

プロカウンセラーが教える
はじめての傾聴術

古宮昇/著 ナツメ社

「介護、福祉、教育など、様々な現場で活かせる傾聴術の入門書。傾聴の実践に欠かせない心構えや技法などを、親しみやすいイラストを使って、ていねいに解説します。

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜日・祝日
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



短歌

▲田林房子さん(中)の出版記念会の写真

飯豊短歌会

- ◆会長／山口久男さん(萩生)
- ◆会員／13名
- ◆練習／毎月1回、萩生町上公民館で歌会を開催
- ◆募集対象
経験・年齢・性別・住所問わず誰でも

●飯豊短歌会への入会などのお問い合わせは、山口久男会長☎72-2341まで

◆ピーアール

短歌とは、さまざまな事象を5・7・5・7・7の三十一文字で表わす短い詩のことです。

飯豊短歌会は、約30年前に町内各地の短歌愛好団体がまとまって創設されました。毎月の歌会では、会員が持ち寄った短歌の趣を尊重しつつ、手を加えて磨き上げを行っています。完成した短歌は、新聞や短歌誌などに投稿しています。今年は宮中の歌会始の儀に詠進する計画をしています。「題材は同じでも、作り手の思いや表現方法によって数限りなく歌は生み出されます。一文字変えただけで、新たな短歌に生まれ変わることもあります」と山口会長は話します。



◀山口久男さん

山口さんにとって短歌とは…

縁に触れて変わる心を
表現する無限の楽しみ

連載 随想

町長の息づき

43

後藤 幸平

「赤い炎」

ペレットストーブを買った。もちろん新発売の飯豊モデルである。町と山形大学と山本製作所が三年がかりの共同開発でようやく達成した成果である。従来の型式からするとスリムでコンパクトながら優れた熱効率で予想以上に温かい。勢いよく燃え上がる赤い炎を眺めながら時を過ごした。

囲炉裏は三つあった。台所と茶の間と納戸の三箇所である。台所の囲炉裏にも親父の座る横座があり、その対面には焚き木や薪を積む場がある。鋸、鉋、手斧などがズラリと並んでいる。切る、折る、削る、割る。手を加えて工夫しなければ、火はつかず煙はもろに台所中に広がる。炉の上の火棚には、ナス、大根、アケビ、魚、種物などがぶら下がっていた。時折、栗やイモ、ニンニクを灰に埋けて食う。甘く香ばしい香りがしつかりと記憶に残る。魚の骨はわたしで焼き直す。自在鉤にはいつも大鍋がかかっており、日によって晩飯の煮物だったり、鶏の餌だったりする。台所の炉端は何でもあり

の創作の世界である。茶の間と納戸の囲炉裏では炭を使う。火は焚かない。だから夏は塞ぐ。冬には覆いを外し炬燵にした。納戸では寢床を炬燵の延長に敷く。広い土間があった。そこは漬物や味噌煮の作業場であり麹と塩を加えて桶に仕込む熟成と保存の空間である。畑仕事の準備と生活の舞台裏である。

飲み水や風呂の水は七軒も離れた共同井戸から汲んだ。木を焚いて沸かす。熱いときは窓を開けて氷を入れる。井戸端には子供たちも男も女も、ときおり行商や旅人も集まりにぎやかだった。そんな囲炉裏火の時代と現代を比べるなら、なにもかもが劇的に変化した。ふる里も山里も昔とは大きく違ふ。燃料は木から石油とガスに変わり、水道が敷設されて、重労働から解放された。食材は作るものではなく、買うものになった。しかし、この便利さと引き換えに失ったものがある。ペレットストーブの「赤い炎」がそう語りかけてくる。

健康福祉課からの健康コラム

health column

健康に関する身近なテーマを2つ取り上げて、皆さんの健康づくりを応援します。

今月の
テーマ

- ・ COPD（別名：たばこ病）
- ・ 高齢者のうつ病予防



COPDとは

あまり聞きなれない言葉ですが、COPDとは「慢性閉塞性肺疾患」のことで、別名を「たばこ病」と言います。

「いつまでも咳や痰が続く」「風邪がなかなかスッキリしない」「体を動かした時に息切れが強くなる」などの症状はありませんか。これらはたばこを吸う人にはありがちな症状ですが、もしかしたらCOPDかもしれません。「年のせい」と思いがちなので、病気が発見しにくいのです。

COPDが進行すると肺の機能が低下して慢性的な呼吸困難に陥り、悪化すると自分で呼吸することができず、酸素ボンベ無しでは日常生活ができなくなってしまうます。

前述のような症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。早期治療することで、その後の合併症（動脈硬化、高血圧症など）の発症や、筋力低下による日常生活の負担を大幅に軽減することができます。

COPDの原因

最大の原因はたばこです。COPDにかかる人の90%は喫煙者であり、長年にわたる喫煙が大きく

影響することから、「肺の生活習慣病」と言われています。

たばこを吸わない人でも約5%の人がかかっていますが、これは副流煙による受動喫煙によるものです。たばこの煙は周囲の人へも害を及ぼします。家族の健康のためにもぜひ禁煙を。

COPDチェック

◆チェック項目

チェック項目が多いほどCOPDにかかっている可能性があります

- 喫煙指数が400以上
※喫煙指数＝一日に吸うたばこの本数×喫煙年数
(400以上の30～40%がCOPDにかかるといわれています)
- 天候により咳がひどくなることがある
- 風邪をひいていないのに痰がからむ
- 朝起きてすぐ痰がからむことが多い
- 喘鳴（ゼーゼーヒューヒュー）がよくある
- アレルギーの症状がある

COPDの予防

COPDの予防法は、禁煙しかありません。禁煙することで、肺機能低下のスピードを遅らせることができます。まずは禁煙からスタートしましょう。

心とからだを健康に

老化や病気による体の変化、退職、役割の喪失、身近な人との別れなど、高齢者にはうつ病にかかる要因が多くあります。

次のような症状はありませんか。2つ以上に該当する方は要注意です。予防のポイントを実践しましょう。

- ① 毎日の生活に充実感がない
- ② これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなつた
- ③ 以前は楽にできていたことがおっくうに感じられる
- ④ 自分が役に立つ人間だとは思えない
- ⑤ わけもなく疲れたような感じがする

◆うつ病予防のポイント

- ・ 生活のリズムを整えましょう
- ・ 一日三食、規則正しく食事をとりましょう
- ・ 地域の活動に参加して交流を図りましょう
- ・ 今日しなくてもいいことは、焦らず明日にしましょう
- ・ 身近な人に少しずつ悩みごとを相談してみましょう
- ・ 自分が落ち着ける場所でゆっくり気分転換をしましょう
- ・ 少し体を動かしてみましょう
(例)肩をゆつくり大きく回して凝りをほぐす。

飯豊町役場

電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

**町地域雇用創造推進協議会
事務員の募集**

飯豊町地域雇用創造推進協議会が行う実践型地域雇用創造事業の事務員などを募集します。

◆募集職種と賃金

職名	内 容	賃金 (月額)
事業推進リーダー (1名)	国からの委託事業を行うリーダー	250,000
事業推進員 (2名)	事業推進リーダーのサポート	150,000
実践支援リーダー (1名)	ブランド商品開発、技術開発、マッチング事業の実践事業を行うリーダー	250,000
実践支援員 (3名)	実践支援リーダーのサポート	180,000

- ◆対象者／年齢、性別、住所不問
- ◆期間／4月1日～平成26年3月31日
- ◆勤務時間／月曜日から金曜日までの8:30～17:00。時間外手当は支給
- ◆待遇／○社会保険と厚生年金加入
○その他の雇用条件は、飯豊町役場臨時職員の雇用条件を適用する。
- ◆応募期日／2月22日(金) 17:00
- ◆応募方法／下記に備えてある申込用紙に履歴書を添えて提出
- ◆選考方法／書類審査と面接
- ◆応募・問合せ先／役場産業振興課商工観光室 ☎72-2111

農産物加工講座

農産物を加工したい方や加工施設の許可を取得したい方を対象に、講座を開催します。参加費は無料です。

- ◆日時／3月3日(日) 9:30～11:30頃
- ◆場所／町民総合センター「あ～す」
- ◆内容／講話、個別相談(希望者)
- ◆申込・問合せ先／役場産業振興課農業振興室 ☎72-2111内線262

被害者支援活動員の募集

- ◆募集する支援活動員
電話相談および直接支援 計10名
○電話相談員は、月2回程度の電話相談に従事(相談日は、年末年始・祝日を除く平日10:00～16:00)
○直接支援員は、裁判所や病院などへの付添い
- ◆対象者／25歳以上の方(性別不問)
- ◆募集期間／3月1日(金)～4月15日(月)
- ◆応募方法
申込書を送付しますので下記に連絡してください。申込書と「応募の動機」についての小論文(字数制限なし)を提出してください。書類審査により「支援活動員候補者」を選考します
- ◆研修の受講・認定
支援活動員候補者は、研修の受講が必要です。研修を修了した方を支援活動員に認定し、支援業務に従事していただきます
- ◆その他／業務に従事した場合は、少額ですが規定の役務費・交通費を支給します
- ◆応募・問合せ先
山形市十日町一丁目6番6号
山形県保健福祉センター内
(公社)やまがた被害者支援センター
☎023-642-3571 FAX023-676-5630
- 危険物取扱者・消防設備士
免状をお持ちの皆さんへ**
危険物取扱者と消防設備士の義務として、消防法令では、免状交付の日から10年以内ごとに写真の書換えをしなければならぬ規定となっています。
- ◆問合せ先
財消防試験研究センター山形支部
☎023-631-0761

**地域の文化活動を
応援します**

置賜文化フォーラムでは、住民の皆さんが平成25年度に企画運営する文化イベントなどの事業を支援します。

- ◆事業の例／○置賜地域の文化資源を活用した文化事業○市町の枠を超えた複数の団体による文化事業○次世代の文化を担う人材育成事業
- ◆支援内容
共催負担金として最大40万円を負担
- ◆募集締切／4月16日(火)
- ◆申込・問合せ先／置賜文化フォーラム事務局 ☎0238-26-6018

在宅介護者教室のご案内

介護をする中で、オムツに関する悩みはありませんか。サイズが合わないようだ、うまく交換できない、など。他の参加者と話す時間もあり、気分転換にもなりますので気軽にご参加ください。

- ◆日時／3月13日(水) 13:30～15:00
- ◆場所／がまの湯温泉「いいで旅館」
- ◆内容／オムツの選び方、使い方、懇談会
- ◆対象者／在宅で介護に励まれているご家族の方
- ◆参加料／無料
- ◆申込方法／下記に電話で申し込み
- ◆申込締切／2月25日(月)
- ◆申込・問合せ先
町地域包括支援センター ☎86-2233

就職面談会 IN 米沢

- ◆日時／2月21日(水) 13:30～16:00
- ◆場所／グランドホクヨウ(米沢市)
- ◆参加企業／置賜地域に本社または就業場所のある50社(予定)
- ◆問合せ先／米沢市雇用創造協議会 ☎0238-49-7327

こせきのまど
戸籍の窓

(1月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所	氏名
(松原山) 哲也さん	山口 哲也さん
(添川横) 陽子さん	横澤 陽子さん
(高峰伊) 儀宝さん	伊藤 儀宝さん
(高畠町) 金子愛美さん	金子 愛美さん

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
椿樋口	果子ちゃん	(智徳 友理)
上原渡部	菜奈ちゃん	(良悠 理恵)
中長岡	莉亜ちゃん	(昭仁 美紀)
萩生伊藤	結愛ちゃん	(正琴 人恵)
中渡部	碧暁くん	(壮扶 丈矢)

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
萩生石原	手塚 ちづ江さん	98
椿辻松山	長一さん	78
添川中洞	塚田 ますさん	92
手ノ子町下	今 ちきさん	89
椿坂ノ下	立石 みさをさん	70
椿駅前	菅野 光男さん	89
添川下町	高橋 辰三さん	84
添川昭和	仲田 きみさん	88
椿財津堂	長沼 孝一さん	91
萩生町上	樋口 吉雄さん	55
手ノ子落合	井上 俊雄さん	81
萩生萩生町	西山 俊一さん	87

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

		1月分 () 内は対前月比		
世帯数	2,401 (1)	転入	13	
人口	男	3,877 (-3)	転出	11
	女	4,124 (-1)	出生	6
計	8,001 (-4)	死亡	12	

河川の支障伐採木を無償提供します

県では、河川管理上支障となる樹木を伐採して利活用を図っています。薪やホダ木などに利用したい方に無償提供します。

- ◆対象者／提供場所から持ち帰れる個人
- ◆提供日時／4月6日(土) 9:00から開始し、毎日9:00~17:00まで。無くなり次第終了
- ◆提供場所／置賜野川・上野川橋下流右岸広場(長井市平山内)
- ◆申込方法／○申込書を、郵送またはFAXで下記に提出。E-Mail・電話での申し込みも受け付けます。○申込者多数の場合は、希望量を提供できない場合もあります
- ※詳細は、県ホームページ(置賜総合支庁)をご覧ください
- ◆申込期限／3月22日(金)
- ◆申込・問合せ先／置賜総合支庁西置賜河川砂防課維持調査担当
☎88-8233 FAX83-3188

http://www.pref.yamagata.jp/regional/okitama_bo/news/

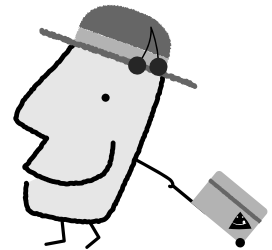
公立置賜総合病院 ボランティア募集

- ◆ボランティア活動内容
○各外来への誘導、案内○外来待合室の図書・パンフレットの整理○各病棟等の飾棚のレイアウト、作品提供○入院患者の買い物代行○車椅子の清掃・点検など※4月から平日8:30~17:00までの都合のよい時間に活動
- ◆対象者／年齢、性別不問
- ◆問合せ先
公立置賜総合病院総務企画課総務係
☎0238-46-5000内線2122

山形DCキャラクター「愛称」募集!

平成26年6月から9月にかけて全国大型観光キャンペーン「山形Destiny」が行われます。キャラクターに素敵な名前を付けてください。

◆キャラクター／原画はカラーです



◆応募方法／複数応募可

- 郵便はがきにて下記を記入して郵送
①愛称②愛称の説明③郵便番号④住所⑤氏名⑥年齢⑦電話番号⑧性別⑨職業または学校名と学年
- ホームページの応募フォームに必要事項を入力して送信
- 応募用紙に必要事項を記入して郵送またはFAXで送信(応募用紙は「応募・問合せ先」で配布)

◆留意事項

- ・受賞作品の一切の権利は、主催者に無償で譲渡されたものとします
- ・受賞者の氏名と住所(市町村名まで)は公表します

※その他の詳細は問い合わせください

◆賞／最優秀賞1点(温泉ペア宿泊券)

◆応募締切／2月28日(休)

◆応募・問合せ先／〒990-8570

山形県山形市松波2丁目8-1

山形DC推進協議会事務局

☎023-630-2911 FAX023-630-2097

<http://yamagatakanko.com/naming/>



◇1月30日、飯豊の雪原に沢山の雪が表れました。通勤や通学途中に見つけた方もいらっしゃると思います。クルクルと見事に丸まった雪は、自然が作り出した珍しいアート。天気が良く絶好のシャッターチャンス。私のほかにも写真撮影している方が見受けられました。雪が出来た年は、豊作になるといわれています。

(かつみ)

編集 後記



文化財は、郷土の歴史、民俗、信仰、自然を物語る町の宝。継承し守り続けている人たちがいるから輝く価値がある。



写真／秋の萩生城址本丸土塁・水濠。写真右側から奥に続く斜面が土塁、写真中央から奥に続くくぼ地が水濠

Treasures in Iide Town

29

selection

萩生城社本丸土塁・水濠

昭和61年度町指定文化財（史跡）指定

Interview

守り続ける人たち



萩生区協議会長

嘉藤幹夫さん
(萩生)

萩生城をしのばせる貴重な遺構

土塁や水濠は、敵から城を守る役割があり、平城には欠かせないものです。文献によると、土塁濠は萩生城を取り囲むように築かれていました。今でも、コミュニティーセンターと恩徳寺の間にその痕跡をはっきりと見て取れます。ここには、私が子どものころまで「門杉」と名づけられた樹齢500年以上ともいわれた巨大な杉が2本ありました。残念ながら、昭和22年に切られてしまいました。水濠の一部は今でも満々と水をたたえ、子どもたちの格好の釣り場となっています。

歴史的に貴重な土塁濠を含めた萩生城址公園と公園の周辺を整備することによって、伝統文化の薫り高く、住み良さを実感できる地域になることを望んでいます。

解説

萩生城社本丸土塁・水濠

萩生城社は、伊達氏の家臣国分氏11代210余年間の居城で、中世の複郭式の平城である。

天授6年（1380）、伊達宗遠が置賜地方を領有したとき、家臣の国分政信が萩生郷に領地を賜り築城したという。天正19年（1591）、豊臣秀吉の奥州仕置によって伊達政宗は米沢から岩手沢（現宮城県大崎市）へ国替となり、国分氏は政宗に従ってこの地を後にした。

現在も西側には水掘跡が明瞭に残っている。土塁は西側の大部分と南側の一部が残っており、特に西南隅には物見櫓があったと伝えられている。

昭和62年3月、町の指定文化財史跡に指定された。